

Ⅱ 設問部

第1状況

佐藤太郎(以下、本状況等における氏名、会社名、事務所名等は実在するものではなく全て架空のものです。)は、佐藤社会保険労務士事務所を営む社会保険労務士である。佐藤社会保険労務士事務所は、従業員はなく奥様が経理等を手伝っている個人事業所である。

佐藤社会保険労務士(以下「佐藤社労士」という。)は、3年前から電子部品製造業を営む従業員約50名の鈴木電子株式会社(以下「鈴木社」という。)の顧問社会保険労務士をしている。

平成25年9月25日佐藤社労士は労務管理の件で鈴木社の高橋二郎総務部長(以下「高橋部長」という。)を訪れた際、鈴木社の鈴木一郎社長(以下「鈴木社長」という。)から「佐藤さん、ご相談したいことがあるので、今度暇なときに会社に来て欲しい。」との依頼を受けた。

あらかじめアポイントメントを入れておいた9月30日午後社長室で鈴木社長にお目にかかった。

鈴木社長は、世間話をした後おもむろに次のような話をはじめた。

「佐藤さん、このところ社員に活気が見られずまた納入先からの製品に対するクレームも多いのですよ。」
鈴木社長は話を続けた。

「このところの不況で経営状況もあまり良くなく、このため毎年4月に予定しているのベースアップもここ2年ほど行っていないのです。このことで社員のやる気が薄れ活気に影響しているのではないかと思っているのですが・・・。」

「そうですか。」

と佐藤社労士は相槌を打ち、そういえば今年3月と7月にそれぞれ1名の退職に伴う諸手続をしたのを思い出した。

いつもの鈴木社長とは違った様相で話を続けた。

「何か社員が活気を取り戻す良い方法はありませんかね。」と問いかけた。

佐藤社労士は、今年に入り顧客の労務管理等に役立てたいと勉強を始めた「社員満足度診断」に思いつき、

「社長、社員満足度診断をされてみてはいかがでしょう？」

と提案したところ、社長は、

「顧客満足度調査というのはこれまでに聞いたことがあるけど、その社員満足度診断というのはどういうものですか？」

と食い入るように聞き返した。

佐藤社労士は、

「私たちが毎年、身長、体重や肝機能、心電図などの検査項目に従った定期健康診断を受けたり、身体の調子が悪い時に受診するのと同じように、個々の社員が仕事や職場環境あるいは会社の企業理念や上司のマネジメントなどについて満足しているかどうかについてアンケート診断をして、問題

点等を把握し、これに対する対策を施すことです。いわば会社の健康診断みたいなものです。」と答えると、

「わかりました。今日はこの後予定が入っているので、後日で結構ですからその社員満足度診断についてもう少し詳しく説明をして欲しいのですが。」

と社員満足度診断に興味を示した社長に対し、佐藤社労士は10月3日午後に説明をすることを約束し鈴木社を後にした。

第1課題

佐藤社労士が10月3日に行う「鈴木社長への説明資料」を作成して下さい。